

第9回 東海村（仮称）村松地区周辺地域活性化計画策定検討委員会
会議の進め方について

平成30年1月22日（月）

東海村（仮称）村松地区周辺地域活性化計画
策定検討委員会事務局

1. はじめに

前回の委員会では、村松周辺エリアにおける軸の再確認を行い、①阿漕ヶ浦公園入口から村松海岸までの“軸”は維持する、②大規模な整備にすぐ取り組むことはできなくても、できることから取り組むこととし、空間の価値を徐々に高めていく、という考え方を確認しました。

また、「再来年に茨城国体が控えており、短期的な取組みの1つとして、国体を活用した地域活性化について考える必要があるのではないか」とのご意見を踏まえ、今回の委員会においては、「国体を活用した村松周辺エリアの活性化」について議論することになりました。

2. 議 事

（1）議題 国体を活用した村松周辺エリアの活性化について

（2）議論のポイント

○2019年茨城国体開催に伴う来村客数は、村内外から数千人規模と見込まれており、競技会場となる阿漕ヶ浦公園にも相当の方が来場すると考えられます。茨城国体の開催は、村松周辺エリアの魅力を村内外に発信し、地域活性化に結び付けていく絶好の機会と捉えることができます。

○今回の委員会においては、「より多くの来村客に、歴史的資源や自然景観が所在する村松周辺エリアに足を運んでもらうためには、村松周辺エリアの魅力を伝えるためには、どのような仕掛け（取組み）が考えられるか」をご検討いただきたいと思います。

○また、取組内容に具体性を持たせるため、検討に当たっては「何に取り組むのか（実施内容）」はもとより、「誰が取り組むのか（実施主体）」や「どこで取り組むのか（場所）」についても併せてご検討いただきたいと思います。

○ただし、前回の委員会において「できることから取り組む」ことを確認したところであり、今回の委員会においては、ソフト的な取組みを中心にご検討いただきたいと思います（ハード整備については、国体開催までに実現可能な軽易なものであれば差し支えありません）。

○なお、村松地区周辺地域活性化のコンセプトには「行ってみたい」や「自然・科学・歴史を体験できる」、「楽しめる」などを掲げているところであり、今回の委員会でご検討いただく具体的な取組内容は、コンセプトの実現に結び付くものと考えています。

（3）議論の方法

①グループワーク形式で議論します。グループ分けは次のとおりです。

Aグループ	井坂委員， 坪委員， 藤田委員， 鈴木（さ）委員， 宇野澤委員
Bグループ	川亦委員， 安尾委員， 荒木田委員， 川崎（敏）委員， 鈴木（千）委員， 川崎（道）委員

②事前にご提出いただいたご提案を整理した資料を参考にしながら、国体を活用した村松周辺エリアの活性化について、具体的な取組内容をご検討いただきます。

■■■いきいき茨城ゆめ国体 2019 の概要（参考 1）■■■

○東海村開催競技

【種目】ホッケー

【会場】①県立東海高校／少年男子，少年女子

②阿漕ヶ浦公園／成年男子，成年女子

【期間】平成 31 年 9 月 29 日（日）から 10 月 3 日（木） 5 日間

【来場予想※H28 岩手国体参考】約 1 万人

【備考】平成 30 年に国体リハーサル大会（全日本社会人ホッケー選手権大会）あり



■■■国体に関する行政の取組み（参考 2）■■■

○阿漕ヶ浦公園の整備※第 4 回委員会（平成 29 年 3 月末開催）のとおりに

ホッケー場の人工芝化，夜間照明設置

遊具広場の整備（遊具の入替）

園路の整備

公園周辺村道の拡幅

周辺駐車場の整備

公園への進入路整備

○ホッケーフェスティバルの開催

- ・平成 29 年 7 月，阿漕ヶ浦公園人工芝改修工事竣工記念として，ホッケーフェスティバルを開催（ホッケー体験教室，茨城代表 v s 福島代表 [成年男子] エキシビジョンマッチ）



2019 年茨城国体